富士山
御殿場口の自然観察











1707年の噴火と雪代とよばれる雪崩ため、御殿場口ではパイオニア植物や珍しい昆虫たちが生きる特別な自然環境と、少しづつ森ができてゆく様子を観察することができます。

パイオニア植物 (先駆植物)

噴火や雪崩で植物がなくなったところは太陽の熱とつよい風のためふつうの植物は生きることができません。このような場所に最初に生えてくるのがパイオニア植物です。標高の高いところから雪崩で流されてきたオンタデは、ちぎれて埋まった根から芽を出しています。


フジアザミ


フジハタザオ


イタドリ


オンタデ

植物群落 (パッチ) と周辺の植物

イタドリが広がるとほかの植物がそこに生えてきます。やがて、カラマツやミヤマヤナギなどの木も生えてきます。ここでは、いろいろな植物が生きられる場所をイタドリがつくっているのです。強い風に飛ばされてきた砂が植物の中に少しづつたまってゆき、植物の集団は島のような形になりました。




ムラサキモメンヅル


ヤマホタルブクロ


クサボタン


キオン


ノコンギク


アキノキリンソウ


ヤマハハコ


フジオトギリ


タチコゴメグサ


カリヤスモドキ


ヒメノガリヤス


コタヌキラン


モジズリ(ネジバナ)


マメグミ


カラマツ


シモツケ


フジイバラ


ミヤマヤナギ

森の始まり (森林限界)

植物群落 (パッチ) が大きくなり、木の種類も多くなりました。最初に生えたカラマツが大きくなって草原はカラマツの森にかわってゆきます。




クモキリソウ


ミヤマモジズリ


シロバナノヘビイチゴ


ハナイカリ


ハナヒリノキ


イヌエンジュ


ヤマハンノキ


ダケカンバ


ヤシャブシ

森の中 (御殿場口から幕岩)

森の中には植物群落 (パッチ) だった地形が残っています。奥に進んでゆくと人工林のほか、カエデ類やミズナラ、ブナなど、たくさんの木の森になります。




ヤマカモジグサ


ヤマクワガタ


タニギキョウ

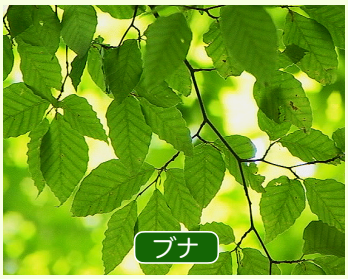

ギンリョウソウ


トウゴクミツバツツジ


レンゲツツジ


アサノハカエデ


イタヤカエデ


ブナ

御殿場口周辺の生きものたち

きびしい自然環境の中で、たくさんの野鳥や動物、昆虫たちが生きています。



ヤマドリ



ビンズイ



ホオジロ



キジ



ニホンジカ



ホンドギツネ



エゾハルゼミ



スジグロシロチョウの仲間



エゾアカヤマアリ

ルーペで観察しよう！


ヤマハハコ


コタヌキラン


アキノキリンソウ


イタドリ


シモツケ

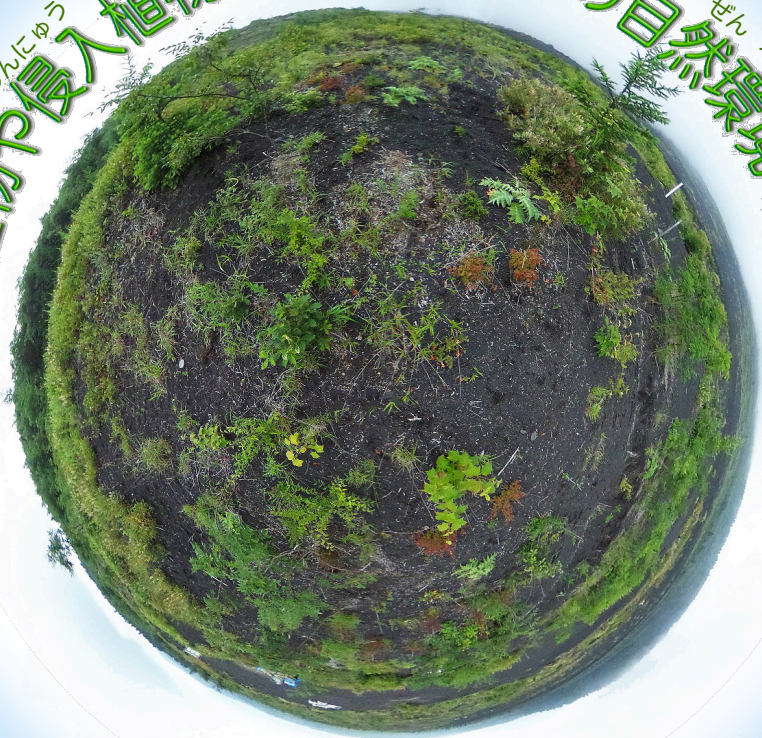

地衣類
ち いるい


ムラサキモメンヅル


クサボタン


タチコゴメグサ

外来植物や侵入植物から御殿場口の自然環境を守ろう！



御殿場口では外来植物や畑の雑草などが
120種も見つかっています。


ヒメスイバ


タケニグサ


スギナ


ビロードモウズイカ

御殿場市富士山環境保全・教育推進事業　2022年
NPO法人富士山ホシガラスの会
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14　TEL 0550-89-6905　ホームページ http://hosigarasu.org